

会議概要録

開催概要

- 名 称：第8回 東区自治協議会 第1部会
- 日 時：平成22年2月15日（月） 午前10時00分～午前11時50分
- 場 所：東区役所分館 会議室
- 出席者：委員
木島委員，岩橋委員，鈴木委員，田村委員，田中委員，村山委員，
山田委員，海津委員，田畑委員，橋本委員
：事務局
地域課長，総務課安心安全係長，地域課企画係職員

審議内容

(1) 避難所生活計画書づくり(案)について

- 今後，東区役所総務課で策定に取り組む予定の「避難所生活計画書づくり(案)」
「〇〇自主防災会 避難生活計画書(作成例)」について事務局から概要説明があり，このことに関連して，委員から意見を伺いました。
- 「避難生活計画書」の1ページ，4の(3)の文中に様式2「防災倉庫備蓄表」とあるが，これまでの自主防災組織では「防災資機材備蓄庫」という名称で認識されているので「防災資機材備蓄庫表」として名称を統一した方がよい。
- 石山地区4コミュニティ協議会で作成中の「避難所運営訓練マニュアル(案)」について部会長より概要説明があり，このことに関連して，委員から意見を伺いました。
- 資料編についている「世帯カード」だが，アパート等集合住宅の住人の皆さんからはなかなか提出してもらうことは難しいと思うがいかがか。

→現状は，それでもしかたがないのではないか。このカードは，避難時において高齢者，病人等を把握して，温度管理ができる適切な場所に避難させるための資料とするもの。したがって市で出している世帯カード(要援護者カード)とは別に作って集めるものである。年齢と持病を記載してもらう程度のものを考えている。実際に石山地区では作成しているところもあるので，今後，具体的な内容等について情報発信していきたい。プライバシーに関する情報なので，カードへの記載を強制はしない。生命に関わることでもあるので，当事者判断で協力できる人だけでも情報提供してもらえればよいのではないか。割り切りが必要と思う。
- コミ協内に，酸素ボンベや人工透析が必要な人がいる。これらの人達への災害時のケアについてどう対応すればよいのか。

→それらについては、病院の方で考えているので、コミ協でそこまで考える必要はないと思う。透析患者については、「災害時にはこのように対処してください」という通知が行っていると聞いている。また、酸素ボンベについては素人が扱うことはかえって危険だという話もある。自衛隊でさえもノータッチだと聞いている。災害時の医療部隊としてはDMATがあり、そこで対処することになる。

- 災害時に各家屋・世帯の被害状況等を書き込み、各家に貼り出して認知してもらうためのボードについて。全戸で買ってもらうって備え付けてもらうというイメージなのか。

→そのとおりだ。

- 事前に購入して準備していても、いざという時に片付けた場所がわからなくなってしまいう可能性もあると思うが、どう考えるのか。

→各家庭で、購入後は紐をつけて、玄関先の見えるところに設置しておくなどするしかない。被災時にこのボードが家に掲示されていると、巡回パトロールする人にとって安否確認の上でも大変有益であるので、ぜひ準備しておくべき物だと思う。

- 以前、簡易トイレの話があったが、各自治会単位で準備しておくことは、保管場所の問題もあって難しいので、今回のマニュアルの中に、「簡易トイレは、できれば各世帯で準備しておくことが望ましい」という趣旨の一言を入れてはどうか。

→避難所生活は主に自治会単位のものになると思われるので、簡易トイレの準備も自治会単位が良いのだろうし、在宅避難者の皆さんは当然、自分で準備しなければならない。状況によって異なるので各自治会やコミ協でケースバイケースで考えればよいのではないか。マニュアルの中身は状況に合わせてどんどん適応するものに代えていってよいと思う。

- 避難時のペットの問題。マニュアルではペットは避難所内には入れないことになっているが、現実には、ペット保有者の意識は薄いように思う。東区内の動物愛護団体のようなものがあるのならば、そうした団体を通じてルールの徹底を呼びかけておく必要があるのではないか。

→もし、どうしてもペットと一緒になければいやだという人達が多ければ、そのような専用部屋を作ってもよいと思う。ただし、消毒の徹底や一般の部屋にはペットの持ち込みを禁止するというルールをつくる必要はある。いずれにせよ、この避難所心得を事前に周知しておく必要がある。

- 問題は、このような膨大な内容のマニュアルをいかにして住民に周知するのが難しいということだ。

→まずは、このようなマニュアルを作って、防災対策が進んでいることを住民に認知してもらうことが大切。したがって、マニュアルの内容について具体的に住民への理解・周知をいかに進めるかは、各自治会で努力、工夫して当たっていただきたい。

本日説明して、意見をいただいた「避難所運営訓練マニュアル(案)」について、次回2月25日開催の自治協議会の部会報告で発表することになりました。

(2) アンケート「東区自治協議会のさらなる発展に向けて」(案)について

- アンケート実施にあたっての依頼文及びアンケート用紙の内容について、提案者である副会長及び事務局から概要について説明があり、各委員から意見をいただきました。
- アンケートは無記名がよい。
- 私のコミ協では、自治協議会のたびにコミ協へ報告し、意見を聞く必要があるので、自治協議会の毎月開催は非常にづらい状況である。
- 部会をもっと細やかにやって、自治協議会(全体会議)は2ヶ月に1回の開催でもよいのではないか。
- コミ協代表委員については条例を変更すれば代理出席も可能。もし、そのようにする必要があるのであれば、アンケートを通じて事務局なり、本庁の自治協議会担当部署なりへの働きかけにもなる。
- 部会に関する設問について。各種部会があるので、(回答者が所属している)特定の部会について言及する場合は、その部会名を付記してもらってはどうか。
- 部会名を特定する必要はないのではないか。

→意見交換の結果、アンケートは無記名とし、特定部会について言及する場合は部会名を付記することにしました。

アンケートの質問項目について、部会で承認されました。

次回2月25日開催の自治協議会で同アンケートの実施について自治協議会(本会議)で提案し、同会議で承認を得られれば3月10日必着でアンケート回答を提出してもらうことにしました。

○ 次回の議題について

次回の部会では上記アンケート「東区自治協議会のさらなる発展に向けて」の回答集計結果を基に意見交換することになりました。

○ 次回の開催について

- ・ 日時：平成22年3月12日（金） 午前10時～
- ・ 場所：東区役所分館 会議室